

# 海洋管理のための水産事業

## 前文

我々は世界最大の水産企業8社を代表しており、事業の範囲は世界中の海洋漁業および水産養殖のあらゆる分野を網羅しています。我々は世界の水産業界のリーダーとして、海洋と地球環境の状態に懸念を抱いています。

人類の繁栄にとって、安定した、回復力のある地球環境は不可欠です。しかし、いまや人新世（アントロポセン）<sup>1</sup>、つまり人類が地球の安定と海を脅かす時代に入っているという科学的根拠があります。

世界の水産業界の命運を握るキーストーン<sup>2</sup>「アクター」<sup>3</sup>として、我々は業界の経営だけでなく、現在と将来の世代に継続的に高品質な食糧を生産する海洋生態系を有する地球の回復力に対しても、国際的な影響力を持っていると認識しています。

既に我々は、世界中でヘルシーで栄養価の高い食生活ならびに雇用に大いに貢献しており、すべての人々への食糧安全保障における役割を担っています。そして、安全で公平な労働条件の下、持続可能な漁法による健全な海での漁業と、持続可能な生産システムによる養殖により、水産物の生産を増やすことは可能であり、かつ人類の未来にとって不可欠であると確信しています。

しかしながら、海洋への負荷は深刻なものです。海洋生態系への影響拡大を示す確固たる科学的証拠もあります。海水温の上昇および海洋の酸性化、沿岸域のマングローブやサンゴ礁の劣化が重要な生命維持システムを脅かしています。生息域は次々に破壊されており、富栄養化や有害物質が深刻な汚染を引き起こしています。また、海洋におけるプラスチックごみの蓄積は、多くの生物種、そして人間の健康にとっても脅威となっています。

海洋におけるこうした課題の多くは水産業界そのものに起因するものではないものの、その影響を我々は直接および間接的に被ります。

我々は、違法、無報告、無規制のIUU漁業や混獲、過剰漁獲、現代の奴隷制ともいえる強制労働といった天然漁業における活動が、海洋に直接的な影響を及ぼしているという認識を持っています。

世界的な人口増加および富裕層の拡大により、持続可能な食糧生産を担う水産養殖への依存が増すこととなります。しかし、不適切な管理の下での水産養殖は、社会および環境への被害をもたらすことにもなりかねません。

<sup>1</sup> キーストーンアクターは、世界的な生産において利益および数量で大半を占め、生産において重要なセグメントをコントロールし、子会社を通じて世界的にエコシステムをつなぎ、重要な管理プロセスおよび組織に対して影響力を持つ。参照： Österblom, H. et al. 2015. PLoS ONE 10(5): e0127533 <http://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0127533>

---

## 今後の対応

---

我々は、こうした課題を率先して解決するために真摯に取り組みます。我々は、水産業界のキーストーンアクターとして、科学やビジネス、天然漁業と養殖業、そして世界中で事業を展開しているアジア、ヨーロッパ、北米の企業のリーダーが集う、史上初のグローバルイニシアチブを立ち上げることを決意しました。それが Seafood Business for Ocean Stewardship（シーフードビジネスフォーオーションスチュワードシップ：「海洋管理のための水産事業」の意）です。

我々は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）が生物圏と海洋の許容範囲内での経済的および社会的発展のための新しい枠組みであると認識しており、これを全面的に支援し支持します。各国政府にSDGsの実施を促すだけでなく、企業に対しても戦略へ統合することを奨励します。我々にとって特に重要なことは、持続可能な漁業、水産養殖業、および健全な海のための適切な条件が各国政府によって確保されるということです。パリ協定の実施、汚染の低減および沿岸生息域の破壊を阻止するための措置も、緊急に行う必要があります。

---

## 我々の取り組み

---

政府の取り組みは重要ですが、解決策の構築と実施における業界の役割も同様に重要です。企業の持続可能性への取り組みにおいてリーダーシップを発揮することは、我々の最優先事項の一つです。これにより、経営の向上、業界の回復力向上、市場や消費者へのアクセス向上、新たな資金フローの誘致、そして雇用主としての魅力増大にもつながるものと確信しています。水産業界における長期的な価値の創造は、海洋の持続可能な利用にかかっていることを我々は誰よりも認識しています。

我々は、何十年も前から水産業界に携わってきました。中には100年以上の歴史を誇る企業もあります。我々はこれまでに行ったことに誇りを持っていますが、業績のさらなる向上が必要であることも認識しています。我々にとってこのことは、戦略的かつ長期的な取り組みなのです。

我々は、「海洋管理のための水産事業」を通じ、各企業が既に取り組んでいる多くの既存のイニシアチブを基に、世界のキーストーンアクター間で共通の理解とアプローチを構築する考えです。

これは科学とビジネスの間のイニシアチブであり、いずれは政府やその他の利害関係者を巻き込んでポジティブな変化を起こすことを目指しています。持続可能な水産物を消費者に供給するだけでなく、世界の海洋および養殖環境の管理者になるための取り組みです。

我々は以下のことに取り組みます

- 自社の業務における透明性とトレーサビリティを向上させ、既存の業界パートナーシップと協調の上に、情報およびベストプラクティス（最良事例）の共有に取り組む。
- IUUの漁業の減少と、IUUによる製品と絶滅危惧種がサプライチェーンに入らないようにするために協力して取り組む。
- 業界、規制機関および市民社会との協働により、漁業や水産養殖の管理および生産性を改善するための科学的根拠に則った活動に取り組む。
- サプライチェーンにおける現代の奴隷制ともいえる強制労働や身売り労働、児童労働などはいかなる形であろうと、それを排除するために協力して取り組む。
- 水産養殖における抗生物質の使用を減らすように努める。
- 水産業界におけるプラスチックの使用を減らし、プラスチック汚染を減らすための世界的な取り組みを推進する。
- 自社の温室効果ガス排出量を削減する。

- 規制制度の改善を含む予防的健康管理のベストプラクティス（最良事例）を導入することによって、水産養殖の新たな成長を促す。
- 持続可能な漁業および水産養殖のための新たなアプローチや技術の開発および導入に協力し、投資を行う。
- 海洋管理における新しいイニシアチブとイノベーションを支援する。

数億人に及ぶ人々のために健康的な食糧を提供することができる海の持つ可能性は計り知れません。しかし、そのためには、大胆かつ確固たる行動が求められます。健全で回復力のある海洋に依存するグローバルな水産業界のキーストーンアクターとして、我々は大いに貢献できるものと自負しています。そしてまた、我々にはその責任があるのです。

持続不可能な地球環境では、水産業界の繁栄はありえず、持続不可能な水産業界では豊かな地球環境を育むことができません。今こそ、先を見越して海洋管理（オーシャンズチュワードシップ<sup>2</sup>）を積極的に進めるリーダーとして共に行動する時です<sup>2</sup>。

---

<sup>2</sup> オーシャンズチュワードシップは、適応と学習に基づく協働プロセスであり、責任と倫理規範によって、人類の幸福のために海洋生態系の回復力と持続可能性を守ることを目指す取り組み。

---

<sup>1</sup> Resilience（回復力、強靭性）

レジリエンス（Resilience）とは「精神的回復力」「抵抗力」「復元力」「耐久力」などとも訳される心理学用語。元々はストレス（stress）とともに物理学の用語であった。ストレスは「外力による歪み」を意味し、レジリエンスはそれに対して「外力による歪みを跳ね返す力」として使われ始めた。ストレスや逆境に直面したとき、それに対応し、克服していく（しなやかな）能力のこと。事業継続的な意味でも使われ、危機的状況からの柔軟な復旧能力ということ。

<sup>ii</sup> 人新世：ひとしんせい、じんしんせい = Anthropocene（アントロポセン）とは、ノーベル化学賞受賞のドイツ人大気化学者、パウル・クルツェンによって提案された造語で、人類が地球の生態系や気候に大きな影響を及ぼすようになった近年の地質学的な時代を表しています。更新世の次の地質時代の、人類の時代という意味です。

<sup>iii</sup> キーストーンは頂上であることを示すと同時に、周囲の建材が崩れないように締める役目を持つ。この用語は、理論や組織など大きな構造を中心で支えている要素を指して比喩的に使われることがある。すなわち、それがないと構造全体が崩壊するという意味で使う。例えば群集生態学ではキーストーン種という語がある。